

科目名				授業の種類	授業担当者	
社会的養護内容				演習	戸谷佳子	
学科	学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	必修・選択
保育科	2	1	30	15	後期	必修
[授業の目的・ねらい]						
社会的養護を担う児童福祉施設の保育士は課題や問題を抱えた子どもたちと日常生活を送ることになる。大きな精神的・身体的負担を抱えながらもその責務を果たすことができるように知識を身に付け、自己コントロールできる力を身に付ける。						
[授業全体の内容と概要]						
子どもの養護、親子関係の援助、こころの援助、自己実現、自立への支援、児童福祉施設の運営管理、児童福祉施設における保育士の資質と倫理について演習事例を参考にしながら学ぶ。						
[受講上の注意事項]						
現場で役に立たせるためには、授業であるという認識ではなく、現場の前の段階として積極的に参加してください。						
[使用テキスト]				[評価基準]		
保育士をめざす人の社会的養護内容 ㈱みらい				授業態度・提出物 50% テスト50%		
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]						
回	項目		授業内容			
1	子どもの養護と保育士		養護問題と保育士			
2	児童福祉施設の子ども達		児童福祉施設を取り巻く新しい理念、第三者評価事業について			
3	里親制度の現状と課題		里親制度について、里親支援の重要性			
4	施設養護のプロセスの現状とその問題		施設養護のプロセスに求められる視点、展開内容と留意点			
5	保育士の基本的な援助、支援		日常生活援助、学習指導、余暇活動、家庭調整			
6	障害児入所施設における基本的な援助、支援		生活プログラムの作成、療育援助			
7	こころの援助		施設養護におけるこころの援助とは			
8	虐待を受けた子どもへの対応		被虐待児とのかかわり方			
9	親子援助		親子関係の調整における役割、チームアプローチ			
10	地域、学校との関係づくり		地域、学校との関係づくりにおける留意点			

11	自己実現・自立への支援、援助	自立の考え方、自立支援の意味、自立に向けた支援、援助
12	児童福祉施設の運営管理	施設運営、組織形態、施設運営と人材育成
13	児童福祉施設における保育士の資質と倫理	援助者としての自分の資質を知る、保育士の倫理
14	バーンアウトを防ぐために	個人の視点、施設の視点からの予防
15	まとめ	まとめ